

【活用にあたって】

身近な自然の観察を通して学ぶ単元も、安全面を考えると準備して慎重に行わねばならない時代になりました。その点ではこうした記事の活用は有効だと考えます。

絶滅危惧種Ⅱ類ってどういう意味なのかという疑問をもつ児童もいることでしょう。絶滅危惧種の「類」については環境省の説明を見ても大変難しいですので、おおまかなポイントだけ説明されると良いと思います。

I類は野生での存続が困難なもの。

Ⅱ類は今の要因が引き続き作用するとき、近い将来Ⅰ類ランクへの移行が確実なもの。

希少・固有種といった説明の必要な言葉が出てくるので、記事は児童と一緒に先生が読んで下さるとよいと思います。

解答例

問1： 20種類ほど

アカザ

ヘビトンボ・カワゲラ・ムカシトンボのヤゴ

問2： 約1億5千万年前から生息していた

問3： B川の水質が良いから